

青山

AOYAMA



梅窓院通信

No.29 2006/10/01 十夜号

月影に美しく稜線が浮かび上がる山並は、浄土宗の総本山知恩院のある京都東山。法然上人の昔から変わらぬ景色なのです。

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成

暑さ寒さも彼岸までといいますが、十月に入り秋の気配が深まると月の美しさがいつそう際立つ、そんな気がします。

まさに、月あかりのもと、虫の声を聞きながら読書なのでしょうが、こうした過ごしやすい季節はお寺でも行事が目白押しです。

三年前に復活しました十夜法要、文化講演会、そしてコンサートと、芸術の秋、食欲の秋にふさわしいイベントが続きます。

講演会はテレビでおなじみの筑紫哲也さんにお越しいたします。当寺の檀家になられ、去年から総代になっていただいた残間里江子さんにご紹介いただきました。

講演会場は梅窓院では一番広い祖師堂ですが、申し込みの先着順にさせていただきます。

また、コンサートは二年振りの来日となるファン・デン・フックさんです。今回はモーツァルトとシューマンの二人のメモリアルイヤードということで、この二人の曲を中心に弾かれます。

十夜法要ではお念仏の後に故坂本九さんの娘さん、大島花子さんの特別ライブ。そして食欲の秋を満喫する芋煮会と、盛りだくさんです。

こうした行事で多くの方に足を運んでいただけると、出演者はもちろん、私たち職員、そして何よりご本尊の阿弥陀さまが喜ばれます。

みなさまのお出でをお待ちしています。

十夜法要

芋煮会

日時：十一月十八日（土）

十夜法要

午後四時～ 本堂

法話

午後五時～ 本堂／泉博美上人

芋煮会

午後五時半～ 境内・観音堂エントランス

参加申込方法

同封の葉書に人数を記入の上、ご返送下さい。

十夜法要

ときどき別時念仏を修して心をも身をも励まし整え進むべきなり

『法然上人行状絵図 第二十一巻』

十夜法要とは陰暦の十月五日の夜より十五日の朝まで十日十夜お念仏を称え続け、極楽往生を願うものです。そのいわれは浄土三部経のひとつ『無量寿経』の「此において善を修すること十日十夜すれば、他方諸仏の国土において善をすること千歳なるに勝る」という教えがもとで、この世で善行を行うのはあの世で行うより難しく、千倍も価値があり、一つの善行が千倍の功德となって返ってくるということからです。

つまり、この世で善いことを行うのはむずかしい、良かれと思っても迷惑だったり、知らず知らずに人を傷つけていたり……ということですから、だからこそ、十夜という特別な法要で色々なことを振り返り、心をこめて念仏を称えたいものです。

梅窓院では十夜法要を再び始めるにあたり、音楽や食事を楽しんでもらえればと、芋煮会を行っています。

念仏を称え、秋の味覚を楽しむ、これは十夜法要のもう一つの目的でもある収穫への感謝にもつながります。

十一月十八日、お誘い合わせの上、皆様でお越し下さい。

大島花子特別ライブ LIVE

芋煮会のメインイベントとして
大島花子さんの特別ライブを
開催します!

プロフィール
大島花子 (ミュージシャン)
2004年 父である坂本九が歌った
「見上げてごらん夜の星を」を40
年ぶりにカバーしCDデビュー。
作詞作曲も手がけ、2005年日本
レスリング協会オフィシャル応援ソ
ング「TEAM」をリリース。
全国の障害者施設などでライブ
活動を行っている。



芋煮会 EVENT

大きなお鍋を囲みながら皆で食べる芋煮の味は、何故かいつもと一味
違います。それはたぶん身も心もホクホクになって幸せな気分になる
からでしょう。話はずんで笑顔がこぼれます。そんな人と人とのコミュ
ニケーションの場になればと思い、今年も心を込めた熱々の芋煮を用
意して皆様をお待ちしています!



こだわりのおだしがしみ込んだ
芋煮は絶品です!



皆さん芋煮を片手に笑顔がこぼれます。

重要

十夜回向に関するお知らせ

十夜法要では、「塔婆」と「短冊」の回
向が選べます。それぞれ申込方法・冥加料
が異なりますのでご注意ください。

またご回向は「〇〇家先祖代々」のみと
させていただきます。

塔婆回向一霊 七〇〇〇円

短冊回向一霊 三〇〇〇円

お申込方法

塔婆一同封葉書に記入の上、十一月十二日
必着でお申込下さい。

短冊一同封の「書き方例」をご参照下さい。

お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂く
か、当山受付までお持ち下さい。銀行・コン
ビニでの支払は出来ません。ご不明な点は
梅窓院受付までお問い合わせ下さい。



平成17年度、十夜法要の模様。

行事予定

文化講演会

「フラクを抜くー緩急自在のすずめー」
十一月四日(土)

開場 午後三時

開演 午後四時 祖師堂

〔講師〕

ジャーナリスト 筑紫哲也氏

入場無料／申込先着三〇〇名様

※お申込みは青山文化村まで。

十夜法要

十二月十八日(土)

法要／特別ライブ／芋煮会

法要開始 午後四時

ファンデンブックピアノリサイタル

十二月二日(土)

開場 午後二時半

開演 午後三時 祖師堂

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

〔お詫び〕

No.28「青山」秋彼岸号にて掲載しました「青山俳壇」ワンポイントアドバイスの二部に誤りがございましたのでお詫びし訂正いたします。

〔雷〕→「雹」(ひょう)

発行／梅窓院
発行日／平成18年10月1日
発行人／中島 真成
編集／青山文化村
住所／〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
電話／03-3404-8588
FAX／03-3404-8446
ホームページ／<http://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail／jodo@baisouin.or.jp
題字／浄土門主総本山知恩院門跡
第八十六世中村康隆現下
表紙写真／(株)アールクリエイション吉田
(提供 セブンフォト)